

平成28年度 第4回江別市民健康づくり推進協議会 議事録要旨

【日時】平成28年11月7日（月）午後6時30分～

【場所】江別市保健センター 3階会議室

【出席委員】14名（笹波会長、伊藤（洋）副会長、菅原委員、中川委員、阿部委員、尾澤委員、山田委員、本山委員、武田委員、中野委員、小林委員、鎌倉委員、細野委員、水谷委員）

【事務局員】10名（真屋部長、福島次長、小椋センター長、蓮田課長、佐藤参事、江川主査、赤石主査、首藤係長、中村係長、佐々木主事）

【傍聴者】 0名

【協議事項】

- (1) 健康都市宣言（案）に係るパブリックコメントの実施について
- (2) その他

- (1) 資料1-1についての質疑応答・意見等

特になし

- (1) 資料1-2、1-3についての質疑応答・意見等

笹波会長：目標年度が30年度になっているが江別市民健康づくりプランに基づいて作成したのか。

蓮田課長：30年度はあくまでも目安として設定したものである。

笹波会長：資料1-3はパブコメでは掲載しないのか。

蓮田課長：掲載しない予定である。

笹波会長：E-リズムは普及しているのか

赤石主査：小学生から高齢の方まで参加していただいて普及しつつある。

笹波会長：時間はどのくらいかかるのか

赤石主査：講習会は1時間程度。

水谷委員：E-リズムは70、80歳になると難しく、1回では思えない。自治会単位で何回も行なっていくことで覚え普及していく。もっと広がりを持った活動をしていけば、活動人員がふえるのではないのか。

赤石主査：年配の方には簡単な初級編を行っている。また健康講話とも組み合わせて行っているので、ご依頼していただければと思う。

水谷委員：小学校では行っていないのか。

赤石主査：まだ依頼がないだけで行っていきたいと思う。

(1) 資料2-1、資料2-2、資料2-3についての質疑応答・意見等

中川委員：資料2-3のバランスのとれた食生活について、学校についてしか書いていないように感じる。一般市民について言及しないのか。

蓮田課長：資料1-3の代表的な指数を出したので、例として記載しました。

中川委員：パブリックコメントの資料として出すのであれば、一般的なものを出した方がよいのではないか。

蓮田課長：検討していく。

笹波会長：栄養教諭について人数はどのくらいいるのか。

蓮田課長：人数については把握していない。

笹波会長：食事のとれない子供はいるのか。

蓮田課長：把握していない。

水谷委員：資料1-3で事業として健康寿命延伸に向けての実施内容はこれで全部ではないのか。

蓮田課長：資料1-3を基準として資料2-3を記載している。

水谷委員：資料1-3を詳しくしたのが資料2-3という考え方でよいか。

蓮田課長：はい。

笹波会長：健康寿命を延ばしていくと資料1-3に掲載しているが、それ以外の取組についてはどういう広い方をするのか。

蓮田課長：いろいろな取り組みがあると思うが、それは江別市のホームページで掲載していく。

また健康寿命が延伸していくことがわかる図をホームページに掲載していこうと考えている。

本山委員：愛のふれあい交流事業とは何か。

蓮田課長：主に安否確認・地域両流の活動である。

尾澤委員：愛のふれあい交流事業が大きく言えば健康につながると思うがピンとこない。

2月に1度、地域の住民でお話することや、1年に1度ふれあいを行う程度で健康についての話はなかった。

蓮田課長：健康づくりだけではなく社会参加も考えている。

尾澤委員：理解した。栄養教諭について触れられているが各学校につき1人はいない。

給食の時間に5分程度食品について説明するだけだが、指標だから載せているのは理解した。ただ保健センターの中での保健指導を行っていると思うので、食生活改善の活動を積極的に行っていこうと感じた。

水谷委員：各自治会活動として行いたいことを相談することは可能か。

蓮田課長：自治会からの相談については市民生活課に相談する形になる。

水谷委員：各担当課にまわって終わりなのか。健康寿命としての事業として把握するのかどうか。

蓮田課長：健康福祉部だけではなく、市全体で取り組んでいくのかはまだ検討していく。

水谷委員：自然体で動く必要があるのではないか。

蓮田課長：検討していく。

(2) の質疑応答・意見等

特になし